



外食ビジネスウィーク2019内

第1回 フードデリバリー・テイクアウト展のご案内



市場拡大・多様化するデリバリー・テイクアウトサービスを 外食・中食業界へ提案する商談展示会

2019年ラグビーW杯、2020年東京オリンピック、2025年国際博覧会の開催で訪日外国人の増加やハロウィンなどの参加型イベント行事の盛況など、外食産業・中食産業の市場は今後拡大していくと見込まれています。その中でも、社会進出により家事の負担を軽減したい女性や、一人前の料理の手間を省きたい単身世帯、在宅高齢者の増加、軽減税率制度の実施などにより、昨今、フードデリバリー・テイクアウトの需要が高まっています。飲食店の「中食」事業への参入のサポートと、中食業界へ多様化するサービスを提案する場として「第1回 フードデリバリー・テイクアウト展」を開催いたします。現代の消費者のニーズやライフスタイルに合わせたサービスを取り入れたいパイヤーとの出会いを創出する商談展示会です。

※[軽減税率制度とは] 2019年10月1日より消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられると同時に、軽減税率(8%)が実施される。
軽減税率(8%)対象:テイクアウト・デリバリー・有料老人ホーム等で行う飲食食品の提供等。 対象外(10%):外食・ケータリング・酒類

【外食産業のデリバリー市場規模は4039億円で前年比+11%】

直近1年(2016年6月~2017年5月計)の外食産業のデリバリー市場規模は4039億円で、前年比で397億円増、+11%とここ一年で急増しています。
【参考】NPD Japan, エヌピーディー・ジャパン調べ

出展対象

「デリバリー・テイクアウト」に付帯する
製品・サービスをお持ちの企業

- 出前代行サービス
- 配送サービス(バイク・自転車など)
- ナビゲーションシステム・アプリ
- 食品容器、使い捨て資材
- パッキング設備・ラベル機器
- 食中毒対策、衛生商材
- 保温・保冷商材
- 決済システム・アプリ
- 販促ツール(のぼり、ポスティングサービス) など



来場対象

「デリバリー・テイクアウト」事業を
実施中、今後検討している下記の
業態の仕入れ担当者・経営者

- 居酒屋・焼鳥屋
- ラーメン・中華料理屋
- そば・うどん屋
- レストラン・焼肉屋
- 日本料理・寿司屋・割烹
- カフェ・喫茶店
- ホテル・旅館
- ファストフード、ファミリーレストラン
- 中食・施設給食・施設食堂 など

【展示会概要】:外食ビジネスウィーク2019 【来場人数】:51,657名(前回実績)
【開催展示会】:第14回 ラーメン産業展/第10回 そば・うどん産業展/第12回 居酒屋産業展
第3回 飲食店繁盛支援展/第1回 ホテル・レストラン・カフェ産業展[ホレカ産業展]
【会期】:2019年 8月 27日(火)・28日(水)・29日(木) 【会場】:東京ビッグサイト 南1・2・3・4ホール

外食ビジネスウィーク実行委員会(株)イノベント内 〒107-0062 東京都港区南青山3-1-31 NBF南青山ビル2F
TEL: 03-6812-9423 / FAX:03-5413-8830 E-MAIL: gaishokubusiness@innovent.co.jp /

「人が集まるお店づくり」をサポートする商談展示会

外食ビジネスウィークは、食材・飲料・設備・サービスを一堂に集め、来場者である飲食店・ホテルとの出会いを創出するとともに、外食業界の活性化に貢献することを目的に開催します。

飲食店が継続的に売上をあげるためには、集客をしつづけなければなりません。

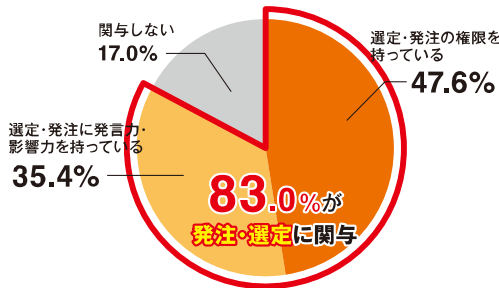
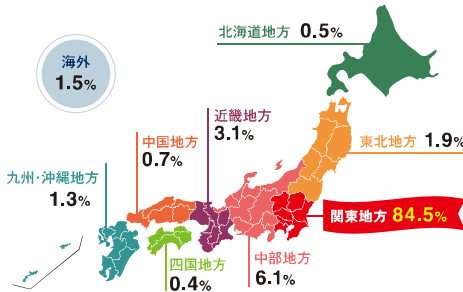
また、業界全体を通して従業員不足が叫ばれており、「スタッフの集客」も大きな課題となっています。本展示会には、「人(お客様・スタッフ)が集まるお店=繁盛店」になるためのあらゆる提案を求めて飲食店・ホテルのオーナー・バイヤーが多数来場します。今回のテーマとなる、人が集まるお店づくりを目指す質の高い来場者に向けて、貴社商材・サービスを売り込む絶好の場となります。

出展のメリット

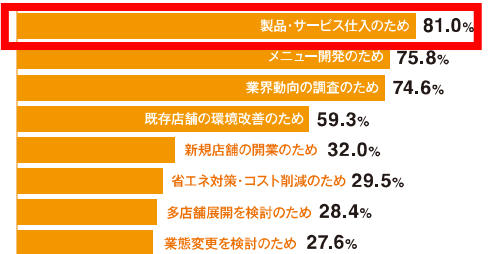
● 来場者数過去最高51,657名に訴求！

● 仕入れの決裁者にご提案が可能！

● 仕入れ目的のバイヤーと商談ができる！



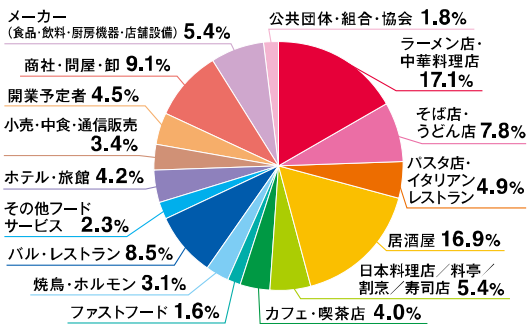
来場目的について(複数回答可)



● 様々な外食業態へ提案が可能！

● 最高受注見込金額 ¥100,000,000！

● 無料個別商談企画を開催！



【出展社の実利に繋がる展示会】



【飲食チェーンバイヤーとの商談を創出】

資料請求はこちらから

